



こんにちは **くらしの目線で
市政を変える**
日本共産党京都市会議員

西野さち子 です

URL <http://nishino-sathiko.jp/> ✉ shikai@nishino-sathiko.jp

**5月
市議会**

代表質問に立ちました

1

大飯原発の再稼働中止を！

5月5日に「稼働原発ゼロ」がスタートしました。政府の安全基準は福島第一原発事故検証委員会の委員長も不十分だと指摘しています。夏の電力不足については情報も関電の対策も不十分で、本当に足りないのか不明です。また、京都府が発表した放射性ヨウ素の

拡散予測では、高浜原発で事故が起これば京都府南部まで被害が及ぶことが明らかになりました。原発に最も近い百万都市の市長として「脱原発」を表明するよう求めましたが、市長は原発再稼働容認の立場を変えませんでした。

2

消費税増税は京都経済を壊す

日本共産党は消費税増税に頼らなくても、社会保障を充実しつつ財政危機を打開する道を進めるべきだと提案しています。消費税は逆進性の強い不公平な税制だとパネルで示しました。そして、いま

増税すれば「倒産が増える」「死活問題」と市民の悲鳴が上がっています。しかし、相変わらず「(消費税は)広く公平な税制。国が低所得者・中小業者への対策を議論」と他人事のような答弁でした。

3

焼却灰溶融施設の中止を！

事故を繰り返し、最初の試運転から2年半経ってもまだ試運転さえできない状況は事業として破綻です。稼働すれば年間の運転経費は、最初の3年間は16億円。4年目からは20億円も必要になります。破綻した事業は中止して、税金のムダづかいはやめるべきだと求めました。答弁は「1年でも長く埋め立て地を活用するために溶融施設は不可欠」との繰り返しでした。

放射性ヨウ素の拡散予想



4

桃山高架橋の抜本的改善を

交通の動脈となっている外環状線は、走行車両の大型化が著しく、道路の傷みが目立ちます。近隣からは「地震のような揺れで壁にヒビが入っている」と苦情が寄せられています。特に桃山高架橋付近の住民のみなさんは「外環状線大型車振動被害者の会」をつくり、積極的な提案をされています。ここでは「揺れがひどくて2階では寝られない」と異常な状況を訴えておられます。早急な抜本的対策を求めました。「全面舗装、振動の緩和対策を検討する」との答弁でした。



市営住宅の修理負担区分の見直しを

畳の耐用年数は10年くらいとのことですが、市営住宅は何年住んでも取り替えは個人負担です。風呂釜も同じです。どちらも取り替えには多額の費用がかかります。家主の責任で畳や風呂釜の改修をするように求めました。

醍醐地域の乱開発を許さない

世界遺産・醍醐寺の周辺の乱開発が目立ちます。乱開発が進めば世界遺産の取り消しにならないとも限りません。京都市が指導力を発揮して、乱開発にストップをかけるように求めました。